

Solan Dream Climbers

～夢に向かって一歩ずつ～

何組かな？ドキドキ登校日

4月8日の子ども達の様子をお伝えします。子ども達は朝、何組かな？とドキドキしながら教室にやってきました。一緒になれてテンションが上がる子や、離れ離れになって少ししょんぼりしている子・・・積み重ねてきた温かい友情関係が見えました。ドキドキワクワクの始業式が終わった後、4年1組で教員自己紹介



を行いました。子ども達は、新しい先生達のならびに、「どんな先生達なんだろう？」と集中して聞いてくれている様子。この1年間で、教師のことをたくさん知ってほしいですし、私たちも一人ひとりのよさをたくさん見つけていきたいと思います。1日目はクラスレクや当番決めについて話し合いました。4年生の主役である自分達のクラスを運営していくために必要な役割について、両クラス真剣に、かつ楽しみながら話し合いました。6時間目は、体育館にてバス・電車下校のルールやマナーについて確認しました。これから、元気に登校してくれる彼らと過ごす1年間が楽しみです。

1年生を迎える会の準備！

実は子ども達は、初日からプロジェクトの学習をしました。今年の4月のミッションは「新しいSOLANの仲間である1年生を喜び迎え入れるウェルカムパーティをしよう」です。3年生の3月に、彼らが一年生だった頃の写真やその時お世話になったお兄さん、お姉さんの写真を見返しました。長い春休みが明けて、記憶が少し遠くなってしまっていた4年生。もう一



度、「なぜ4年生が迎える会を企画するんだろう」ということを一緒に考えました。子ども達からは、「プレゼンや企画のスキルアップをする」「一年生達により年齢が近い自分達がやったほうが安心できる」「ながくいる1期生として、SOLANの新仲間をむかえたい」などの意見が出ました。教師も「もう今年から『上級生』の仲間入り。だから



からこそ、新しい下級生を迎えるお兄さんお姉さんとして成長してほしい。」ということをお伝えしました。

その後、チームに分かれて活動が進みました。ウェルカム動画を作るチーム、交流ゲームを考えるチーム、クイズをしてSOLANのことを知ってもらうチーム、全体のことを計画するチーム、それぞれの強みを活かして子ども達は参加していま



す。このプロジェクトが彼らの最初の挑戦となり成功に終わるよう、教員一団もサポートに努めていきます。